

食品表示法に基づいたアドバイスが決め手 詰め合わせの表示ラベルでも大活躍

渋谷区富ヶ谷に本店のある「テオブロマ」様は、まだ日本にチョコレート専門店がほとんどない20年以上前に、日本人ショコラティエの先駆者土屋公二さんがオープンしたこだわりのお店。

本店では種類豊富なチョコレートや、焼き菓子などの販売の他、カフェスペースにて軽食、ケーキ、ドリンクなども提供しています。また、通信販売も行っていて、数年前にサイトをリニューアルしてから注文数が増加、コロナ禍による外出自粛でさらに売上が伸びているそうです。

本店の他に3店舗を構える同店では、4年前、それまで使っていた他社プリンタからマックス製品へとすべてのお店のラベルプリンタを買い替えて頂きました。さらにこの春、通信販売や特注品などに対応している本店では、新製品のLP-700SAを1台追加導入して頂きました。そこで、同店で実際にラベルプリンタを導入されたマネージャーの渋谷さんに買い替えのきっかけや評価についてお話を伺いました。



テオブロマ渋谷本店
渋谷 真実子 マネージャー

同店がJICA(国際協力機構)との契約終了後も支援を続けているマダガスカルのカカオ訓練所にて。



取材先DATA

テオブロマ渋谷本店

静かで落ち着いた雰囲気のある店内は明るく、ショーケースにズラッと並んだ商品の姿が壮観です。可愛いパッケージや遊び心のあるビジュアルのチョコレートはバレンタインだけでなく、日常のちょっとしたプレゼントにも最適です。

所在地：東京都渋谷区富ヶ谷1-14-9

公式サイト：<https://www.theobroma.co.jp>

■マックスのラベルプリンタを導入されたきっかけは？

渋谷さん：毎年バレンタイン時期に自社の店頭と通信販売以外に百貨店にも出店しているのですが、食品表示法が改正された4年前に百貨店の担当者さんから表示についてご指導を受ける機会があり、それまで使っていたプリンタに限界を感じていました。ちょうどその頃マックスさんのセミナーがあり、プリンタのことだけでなく頻繁に改正される食品表示法に基づいたアドバイスをして頂き、それなら心強いと感じオーナーに「私はこれが欲しい」とお願いしたのです。

■その頃は渋谷さんがラベル発行を行っていたのですか？

渋谷さん：はい、もともと私は販売メインでやっていました。マックスさんのラベルプリンタはソフトの操作性が良く、アルバイトの方でもラベル発行がしやすく指導が楽でした。少し教えたらすぐに理解してくれたので、問題なくオペレーションで使えるようになりました。

■LP-700SA導入のきっかけは何ですか？

渋谷さん：特注を受ける機会が増えたことです。限定のジェラートの詰め合わせのご注文を頂いたのですが、普段は入れる必要のない販売者の表示なども必要で、文字数が増えたのです。

また、表示ラベルに関して慎重に対応する必要がありますので、導入を決めました。

■LP-700SAにして良かったことは？

渋谷さん：今までよりも使用できる

ラベルサイズの大きさが広がったことです。新機種はラベル幅が70mm、ラベルピッチ180mmまで大きくなり、今までは2枚に分けて貼っていた表示も1枚にまとめる事ができました。これで原料原産地表示など情報がどんどん増えている詰め合わせの表示ラベルなどにも対応できるので助かっています。

また、オートカット機能も便利です。前もってラベルを作ってストックしておくのですが、トレイを置いておけば、指定したカット枚数でラベルを自動で切ってくれます。マックスさんのプリンタを導入する前はラベルがあふれる心配があり1台に一人取られていましたが、離れていてもプリントが終わっているのでその必要がなくなりました。

■なるほど、店員さんの負荷の低減にマックスのラベルプリンタがお役に立っている様子がよくわかりました。本日はありがとうございました。



楽ラベ
LP-700SA

印字密度 300 dpi
印字速度 80 mm/sec
ラベル巾 最大70 mm
有線/無線 LAN 対応
オートカット機能



マックス株式会社

楽ラベ

検索

楽ラベ特設ページ

<https://rakurabe.max-ltd.co.jp/>

フリーダイヤル

0120-510-200

(土日・祝日・当社指定休日を除く)